

図書便り

平成29年 10月号

情報コーナーでは、男女共同参画に関する約1,600冊の図書の貸出しを行っています。ぜひご利用ください！



特集

「性産業で搾取される女性の“性”」

～リプロダクティブ・ヘルツ/ライツ

(生と生殖に関する健康と権利) について考える4冊～

AV出演を強要された彼女たち

宮本節子/著
ちくま新書/刊

アダルトビデオに出演させられてしまい、自分の生活や身体、精神が強く脅かされ、侵害されたと感じる女性たち。彼女たちがスカウトされて商品がで流通するまでの事情を追うとともに、「AV出演を強要された」女性の生の声を聞き、支援するなかで見えてきた実態を明らかにする。

女子高生の裏社会 「関係性の貧困」に生きる少女たち

仁藤夢乃/編著
光文社新書/刊

取材を通して出会った「JK（女子高校生）産業」で働く少女たちが、そこに行きつくまでの背景や状況、そしてその後をまとめた。決して特別な事情を抱えた子どもたちだけではない少女たちの周りで何が起きているのか？

「声を聞いてくれる大人がほしい」と話した女子高校生たちの本音を探る。

多発する少女買春 一子どもを買う男たち

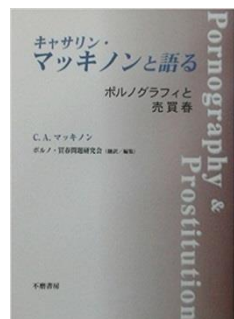
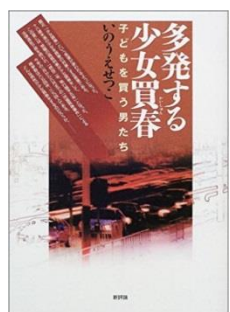
いのうえせつこ/著
新評論/刊

なぜ「少女買春」という言葉が使われるのか？ 日本の多くの子ども買春者は成人男性で、買う対象も少女がほとんどだからである。「少女買春」と言えば、買われる側の少女のことが取り上げられることが多い。この著では、国内外を問わず、子どもの性を買うわが国の男性たちの背景にある“買う側”に迫る。

キャサリン・マッキノンと語る ーポルノグラフィと売買春ー

キャサリン・マッキノン/著
ポルノ・買春問題研究会/編
不磨書房（信山社）/刊

ポルノグラフィと売買春は、男性のセクシュアリティを歪め、性差別的な女性観を育み、そこで生きることを余儀なくされている女性たちがいる。そしてそのような人権侵害行為を容認する社会が女性たちの人権を食い潰している。この問題の先頭に立って闘ってきたラディカル・フェミニスト、弁護士、法学者であるマッキノンが語っている。





子育て世代のライフプランを考える

～「マネー」これからいくらかかるの?～

共働き夫婦がトクする本 これならわかる!

高木隆司/著
こう書房/刊

扶養家族でいるほうがゼッタイ得? そういうわけでもない? 本当はもっと働きたい、だけど、夫の扶養家族からはずれてしまう・・・こんな悩みを抱えた妻は多いはず。どうやって「夫婦共働き」でおいしい思いをするか、「保険」「税金」「年金」で家計が助かるポイントがいっぱい詰まっている。

シングルマザーのあなたに -暮らしを乗り切る53の方法-

NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ/編著
現代書館/刊

シングルマザーの集まり、「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」の25年間の歩みをまとめた本。すでにシングルマザーのあなた、シングルマザーになるかもしれない方に「子ども」「仕事」「マネー」「支え合いネットワーク」など情報がいっぱい詰まった1冊となっている。

新着図書

本当に

男も女もみんなフェミニストでなきゃ

チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ/著
くぼたのぞみ/訳
河出書房新社/刊

チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ
CHIMAMANDA NGOZI ADICHE
男も女も
みんな
フェミニスト
でなきゃ
WE SHOULD ALL BE FEMINISTS
くぼたのぞみ 訳
河出書房新社

アフリカと米国を股にかけて活躍するアディーチェは、社会的・文化的性差（ジェンダー）が個の生き方を左右する現実を示す。その上で「ジェンダーについては今日だって問題があるよね、だから改善しなきゃね、もっと良くしなきゃ」とフェミニストという言葉を定義する。

もらえる年金がわかる本
'16~'17年版



下山智恵子
甲斐美帆/著
成美堂出版/刊

「むずかしくてわかりにくい」年金のしくみを年金にはじめて触れる人にもわかりやすいように、図表やイラストを多用し、法律用語をやさしい言葉で表現している。重要な制度をわかりやすく解説。実際の支給額を確認する方法、必要な届出、手続きが全部わかり、この1冊で不安解消!

情報コーナーの利用について

貸出：1人2冊まで、2週間（延長可）
対象：長岡京市在住・在勤・在学の人
※図書の貸出しには

「情報利用者カード」の登録が必要です。
カードの登録には、運転免許証など、本人確認が出来るものをお持ちください。

紹介した本は情報コーナーで貸出しています。
他にも同ジャンルの本や新着図書がたくさんあります。職員におたずねください。

◇編集・発行◇

長岡京市女性交流支援センター
〒617-0833

京都府長岡京市神足2丁目3番1号

長岡京市立総合交流センター6階

TEL 075-963-5501 FAX 075-963-5521

E-mail: josei-c@city.nagaokakyo.lg.jp

開館時間：午前9時～午後5時（日・祝を除く）